

2021年4月18日(日)  
国際ロータリー第2780地区  
地区研修協議会

# 地区戦略計画について

(地区ビジョンを実現しよう)

国際ロータリー第2780地区  
地区戦略計画委員会  
委員長 相澤光春  
(ふじさわ湘南R.C)

ビジネスでも人生でも、自分が目標とする場所にたどり着きたければ、まずは行き先をはっきりと見定める必要があります。

明確な目標を立て、目標に向けて自分が今、どの位置にいるのかが分かれば、自らをより良く理解した上で、強みを生かし、課題に正面から向き合うことができるでしょう。組織全体で同じ目標に向かって協力すれば、もっと多くのことが達成できます。

これこそ、私たちがRI戦略計画を長期的なロードマップとして位置づけた理由です。戦略計画は進むべき道を示し、ロータリーの成功に向けて着実に前進するための指針となるものです。

2012-13年度RI会長  
田中作次メッセージ

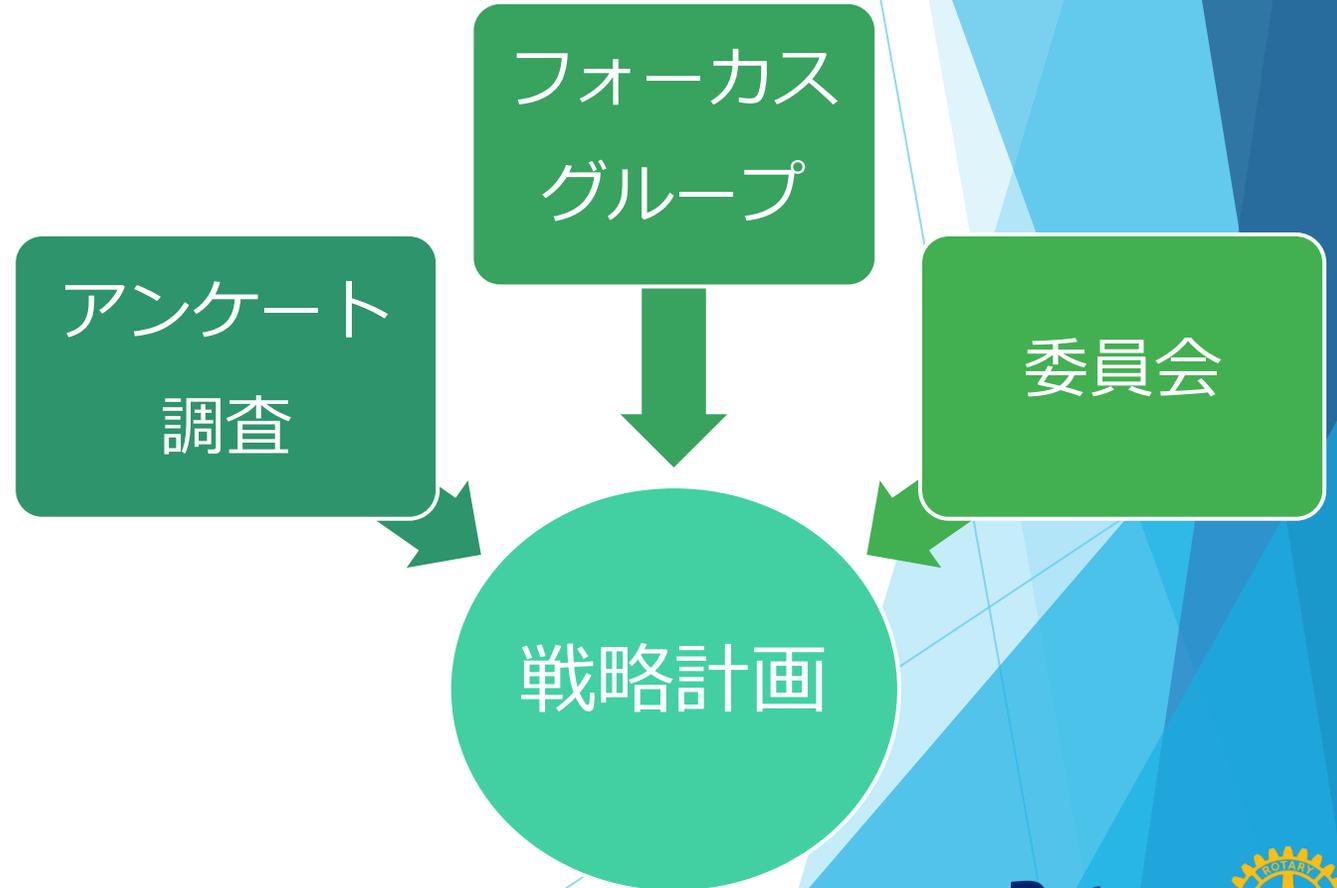


# 戦略計画は

2002年頃より検討を始めて、組織の簡素化・効率化することにより、ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界各地でより良い、地域社会づくりに貢献していくための将来の指針となるのが、ロータリーの戦略計画です。

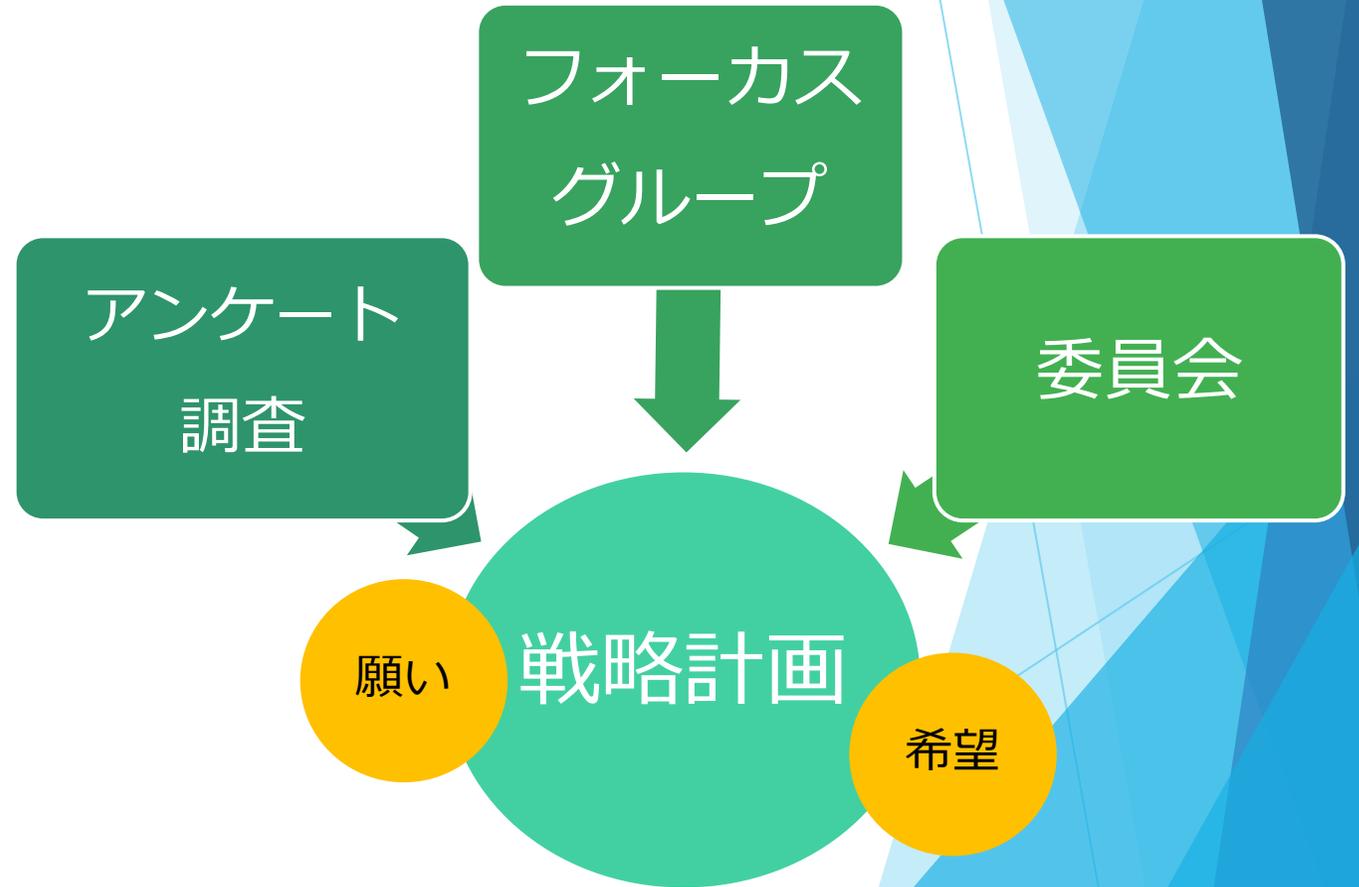
# RIの戦略計画委員会は

少なくとも3年に一度、  
ロータリアンなどを対象に、  
アンケート調査・フォーカス  
グループ（座談会調査）・委  
員会等の会合を通じて集めら  
れた会員の意見を基に形づく  
られています。



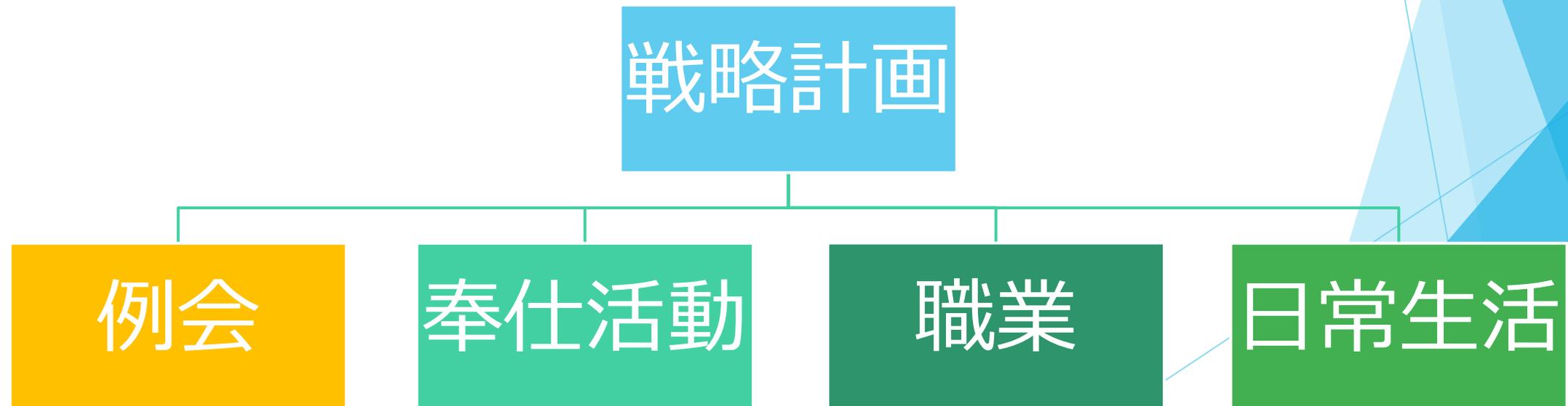
# 戦略計画は

ロータリーがこれからも目標に向けて前進し続けていくために、戦略計画は、ロータリアンの願いや希望を取り入れながら進化していくものです。

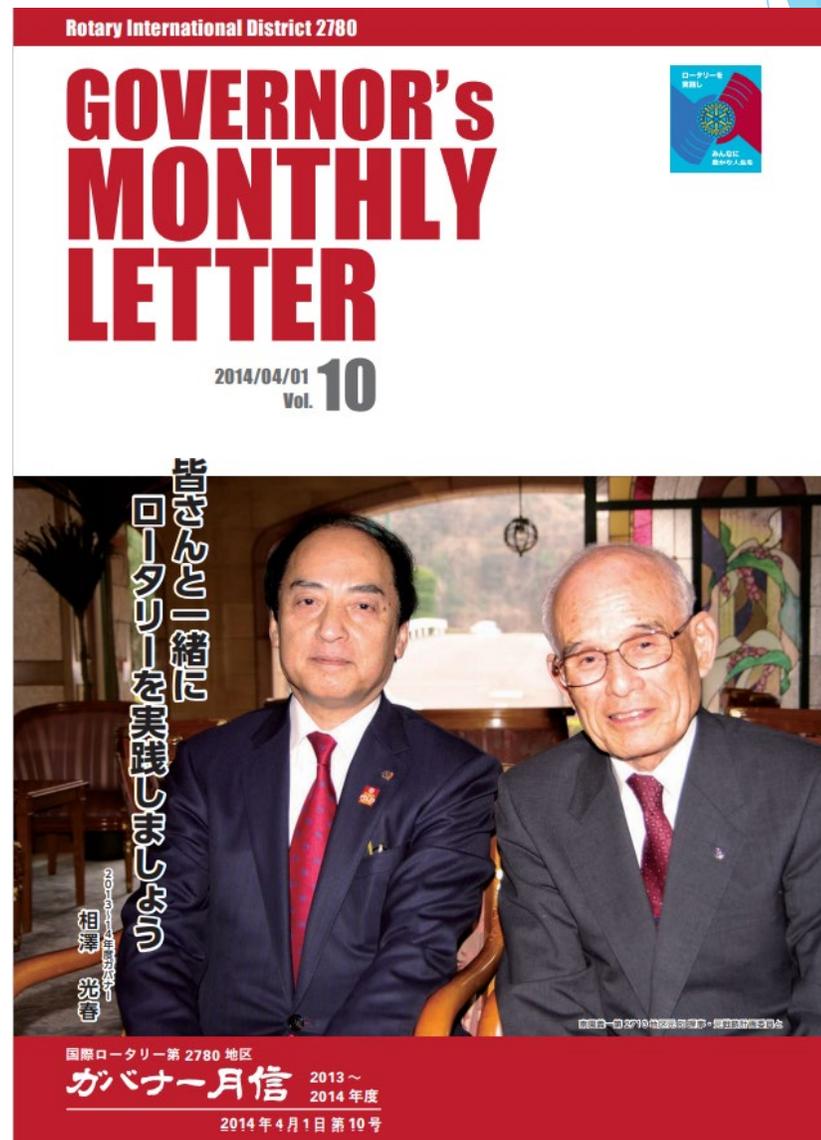


# 戦略計画は

ロータリアンが、例会や奉仕活動を通じて、また、職業や日常生活を通じて、何を考えどのように行動すればいいのか、その指針の一つが戦略計画です。



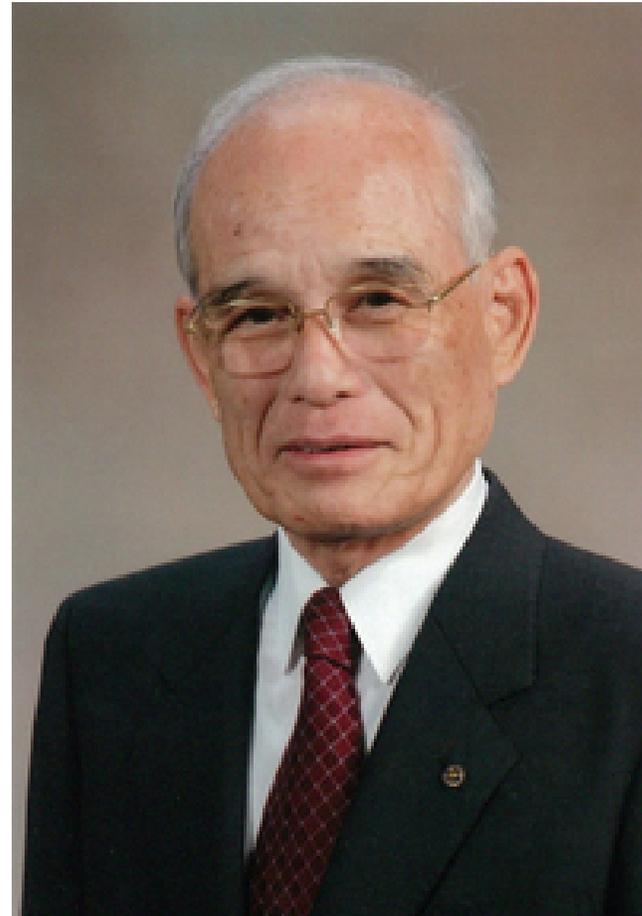
私がガバナーエレクトの時、特に  
関心を抱きましたのは、RIの戦略  
計画委員を務められました故南園  
義一様の戦略計画の三つの柱の一  
つ、「公共イメージと認知度の向  
上」のスピーチでした。そして直  
接お会いして聞きたいと思い、ガ  
バナー年度に山口県防府にお伺い  
して、対談をさせて頂きました。



南園義一元RI理事と対談

# 南園義一様 (防府R.C)

- ▶ 1978年5月  
防府RC入会
- ▶ 1991-92年  
第35代防府RC会長
- ▶ 1997-98年度  
RI2710地区ガバナー
- ▶ 2004-06年度RI理事
- ▶ 2007-13年度  
RI戦略計画委員



# 南園様との対談 (奉仕の実践と公共イメージ)

南園様は

「ロータリーの奉仕は一体的なもので、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、新世代奉仕（青少年奉仕）、それぞれ断面的に捉えるのではなく、又一面的に考えるのではなく、包括的なものとして考えてほしい。ロータリーの奉仕は、総合的で柔軟、且つ機能的なものとして捉え、【ロータリーの目的】の最後にある四つの項目の後段にある（等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならぬ）とありますように、色々な奉仕活動が重なり合って一体として考え、実践に移していくということです。

# 南園様との対談

奉仕はクロスロードのようなものです。

いくつかの奉仕活動が交わるところが奉仕で、立体的に機能的に考えることが大事なのです。

奉仕の順序にこだわる必要もなく、一面的でもありません。クロスロードになっているところが一番の焦点であると考えることが大切です。」と述べられておりました。

# ロータリーとロータリー財団の新しい ビジョンが2019年7月1日からスタート

## <ビジョン>

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指しています。」

## ビジョンは

世界に変化を生み出す

未来を見据えながら進化

ロータリーを時代に即した組織に

## 目的は

組織を強化、ロータリーの価値観を守り、これからも長期的に繁栄していくため、未来の方向性を定める。とされています。

ビジョンを具体化するための行動計画として、「戦略計画」があります。

# ビジョンその思い！

- ▶ **ロータリーで、私たちは手を取り合います。**

協力すれば1人よりずっと強くなれると知っているからです

- ▶ **私たちは行動します。**

ロータリーは夢想家ではなく、実行する人の集まりだからです

- ▶ **私たちは持続可能な変化を生みます。**

私たちの活動が終わった後も未永く続く変化を。

世界での変化・地域社会での変化は私たちが決して会うことのない人や最愛の人を含め、すべてに影響するからです。

# 新しいビジョン実現のため、次の四つの優先事項が、2024年までの行動目標として示されました

ロータリーがより大きなインパクトをもたらす

参加者の基盤を広げ

参加者の積極的なかかわりを促し

適応力を高めていく

※この計画を通じて世界各地で可能性・アイデアが生まれます

# 2011年ブランド構築の コンサルタント調査

## <調査に基づく>

- ・ 公共イメージ向上の取組みが不十分
- ・ 一貫したロータリーについて伝えるストーリーが定まっていない
- ・ 他団体とは異なる方法で物事を捉えているか地域社会で変化を  
粘り強く活動しているか  
地域社会で変化をもたらしているか

第47回ロータリー研究会

2018-2020年元R I 理事 三木 明 (姫路RC)

# グローバルブランドの推進

## 「Brand Fidelity(忠実) Project」

国際ロータリーでは最新のアニユアルに沿ったロゴマークの使用推進が厳格に進められています

各地区のホームページのロゴの変更など、クラブ単位でも進められています

# 「世界を変える行動人」 キャンペーンの推進

(公共イメージを高める地域社会のために行動)

一貫したストーリーを伝える

(行動人としての姿を伝える)

活動プロジェクトの行動を通じて

変化をもたらすストーリーなど



# 組織に対して人びとが抱く認識向上

- ▶ ロータリーの重要性の向上
- ▶ 地域社会で行動を通じて変化をもたらす
- ▶ 他団体とは異なる方法で取組んでいると強い印象を抱いてくれる

# 戦略計画委員会からのメッセージ

この計画を通じて、行動人が手を取り合って、価値観を同じくする者同士がつながり、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むために活動することで、何が可能となるかを、私たちが認識することができます。

## <組織の強化について>

- ・ロータリーの価値観を今後も守ること
- ・あらゆるレベルで組織を強化すること
- ・ロータリーに参加するすべての人が有意義で価値ある経験ができるようにすること
- ・地域社会をより良くすること



ステファニーA.アーチック  
2019-21年度RI理事  
戦略計画委員会元委員長

# 地区戦略計画立案に向けて

地区の戦略計画の検討は昨年度からスタートいたしました。

国際ロータリーの新しいビジョンを踏まえながら地域社会がよい変化を生むための活動目標として、地区ビジョンの策定、行動計画として戦略計画の立案をいたしました。

# 地区ビジョン制定 (2019年10月地区大会決議)

「私たちは、地域社会の変化とニーズを捉え、地域社会にインパクトをもたらし、多様な人々との出会いとつながりを活かして、良い奉仕を実践するために積極的に行動します。」

# エレメント

地区ビジョンの達成を方向付けるエレメント（要素）  
が4つございます

---

・ Together      多様な人々と共に

---

・ Connect      繋がる

---

・ Take Action      積極的な行動

---

・ Wonderful  
Encounter      素晴らしい出会い

---

# 地区優先事項

地区ビジョン制定に伴い、ビジョン実現に向け次の4つの地区優先事項を掲げさせていただき、優先事項について地区課題などについて各優先事項をより具体的な目標として行動目標を策定させていただきました。

地域社会の変化とニーズを的確に捉える

地域社会にインパクトをもたらす

多様な人々との出会いとつながり

積極的に行動します

# 地域社会の変化とニーズを 的確に捉える

## (行動目標)

- ・ 地域諸団体との連携
- ・ クラブの行動に繋がる地域社会の課題、情報を捉える
- ・ 地域社会との情報の受発信
- ・ 時代の変化に適応する組織の醸成

# 地域社会にインパクトをもたらす

## (行動目標)

- ・ **ポリオ根絶に向けた横断的な活動の推進**
- ・ **地域社会に向けた開放的な活動の推進**
- ・ **地区活動の理解促進**
- ・ **プロジェクト推進のためのクラブ活動状況の情報共有化**

# 多様な人々との出会いとつながり

## (行動目標)

- ・ローターアクトクラブ及びインターアクトクラブの拡大など、若い人たちへの積極的支援
- ・地域で活動するより多くの人たちとのネットワークを築く
- ・将来のリーダーの発掘、育成及びリーダーシップの継続性
- ・年齢、キャリアを問わないプロジェクトの推進

# 積極的に行動します

## (行動目標)

- ・ロータリー財団への協力と補助金事例の発信
- ・クラブの積極的行動への促進と支援
- ・クラブ、グループ、委員会、ガバナー補佐の情報共有化
- ・安全、安心、環境保護を意識した行動

# 価値観を行動に

私たちは、「親睦」を通じて生涯にわたる友情をはぐくみ、国や文化を超えた理解を促します。

私たちは、「高潔性」をもって約束を守り抜き、倫理を守ります。

「多様性」を誇るロータリーはさまざまな考え方をつなぎ、多角的なアプローチで問題に取り組みます。

私たちは、「奉仕」を通じて「リーダーシップ」と職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組みます。



# 「地域社会への参加」と 「新しい人との出会い」

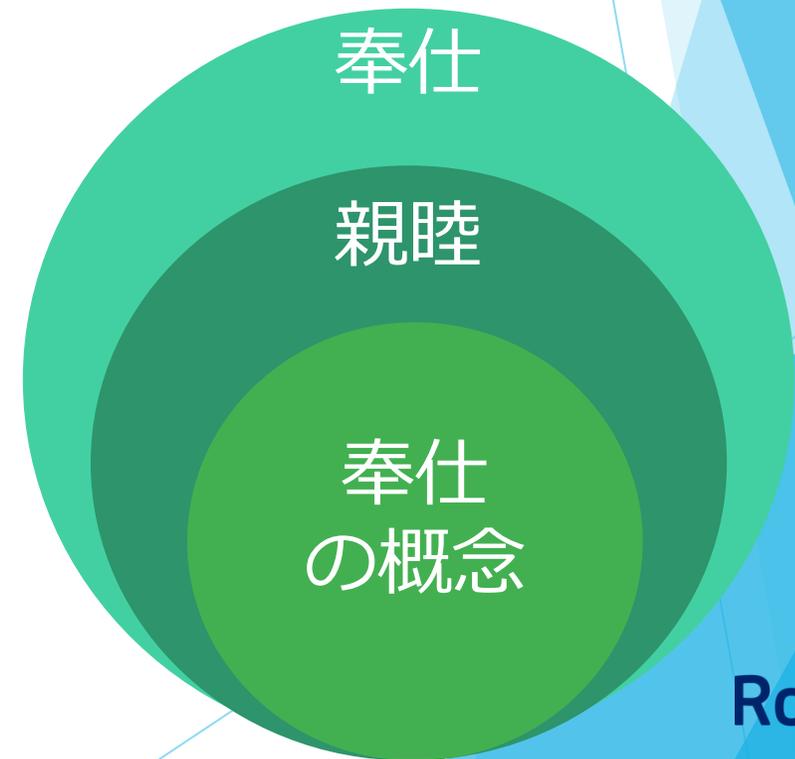
積極的な参加を通じて会員の熱意や地域社会との係わり合いなど、その実践を通じ、よりロータリーの理解が深まり、ロータリーでの体験が自らの職業に役立ち、その結果として人間的成長へと導く機会となります。



# 奉仕の概念

奉仕の中に親睦が生まれ、親睦の中に奉仕の概念が生まれてきます。奉仕はより良い人間関係を創造し、奉仕の実践はクラブの中から湧いてきます。

ロータリーがこれからも長期的に  
繁栄し、活動が広く認知され、理  
解していただくために積極的に戦  
略計画を実践していただきたいと  
存じます。



**戦略計画はロータリーの目的達成の重要な手段でもあります。**  
**言うまでもなくロータリーの活動の原点はクラブの活動であり、クラブの素晴らしい実践活動を地域社会との関わり合いを深めながら中核的価値観のもと自主的に積極的な奉仕活動を推進して頂ければと存じます。**

# ロータリーの「多様性、公平さ、開放性に関する方針声明」を承認 (2019年1月R I 理事会)

ロータリーは、持続可能な変化を生むために人びとが手を取りあって行動する世界を目指すグローバルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景を持つ人の貢献を称えます。

ロータリーは、少数派グループが会員およびリーダーとして参加できる機会が多く存在する。多様で、公平で、開放性のある文化を育みます。

# D.E.I実践

## ▶ 多様性 Diversity 中核的価値観

ロータリーは、あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します

## ▶ 公平さ Equity 四つのテスト（みんなに公平か）

ロータリーは、クラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つ

## ▶ 開放性 Inclusion ローターアクトを迎え入れた

ロータリーは、あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注いでいます。

2020年11月25日第49回ロータリー研究会（リモート配信）

辰野R理事

格差と不平等が常態となり、富を再配分する機能が  
弱まった社会はもろい。

ゆとりがなくなった人々から公共心や他者への寛容さ  
が失われ、異質なものを安易に排斥するムードが漂う。

日本経済新聞

2021年3月31日（水）

# 終わりに

奉仕するものは行動してください。

ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、  
また、ロータリーの哲学も単に主観的なものではなく、  
それを客観的な行動に表さなければならないと存じます。  
そして、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の  
理念を実践に移していただければ幸いです。

ご清聴ありがとうございました